

2021年3月11日

在学生・2021年度入学予定者の皆さん
保証人の皆様

横浜美術大学の入学試験に合格された皆さん、誠におめでとうございます。この一年間は厳しい受験環境に加え、新型コロナ感染拡大に対する不安も大きく試練の一年間であったに違いありません。皆さんのご健闘をたたえ、心よりお祝いを申し上げます。

また、在学生の皆さんには感染予防のためとはいえ厳しく入構制限を課し、教員や友人とも自由に会えない学生生活の中で、感染防止と学業の両立を果たし、この春の進級並びに卒業を迎えられたことに心から敬意を表します。保証人様におかれましては、学生・大学共々にご理解とご配慮を賜りましたことに対し心よりお礼を申し上げます。

さて、現在、世界中で新型コロナウイルス感染は拡大し続け、国内では緊急事態宣言が再発出、神奈川を含む一都三県は延長される事態を迎えております。医療関係者への接種がはじまったワクチンや開発が急がれる新薬によって、私たちが元の生活に戻るまでには、なお今しばらくの辛抱が必要であると思われまます。

2020年度を振り返りますと、例年通り4月から授業を開始することはできませんでした。また、5月11日からの前期授業については、その全てを遠隔方式で行いました。後期に関しては、さらなる感染拡大防止策を徹底することで、卒業研究・制作からはじまり、実技・演習系科目の多くで対面式を復活、遠隔式との併用で授業運営を行ってまいりました。

先行きが見えない中で、①学生及び教職員の安全・安心を最優先とする②学生が無事に進級、卒業することを優先する③実行可能な範囲の中で、充実した学びを実現すべく全力でサポートするの三点を目標に掲げ、教職員一丸となって感染防止対策に取り組んでまいりました。同時に、大学が感染源とならぬよう、地域社会に対する責任を全うすべく各種対策を講じてまいりました。こうした取り組みにつきましては、2021年度も引き続き堅持、徹底遂行してまいります。

学生の皆さん並びに保証人様による多大なるご協力の結果、本学におけるPCR検査陽性反応者は2名にとどまり、クラスター（感染者の集団）発生はもとより、構内での感染者も認められませんでした（2021年3月11日現在）。また、学生の皆さんによる粘り強く、真摯な学びによって、2020年度の全授業と卒業制作展を無事に終了致しましたことに対し、改めまして御礼を申し上げます。

2021年度は先にお知らせした「横浜美術大学 2021年度 授業実施方針について」の通り、実技系は対面式を主とし、講義系については様々な状況を勘案した上で対面・遠隔の混合式で行う予定です。

一日も早く活気溢れる元のキャンパスに戻れるよう、2021 年度も教職員一同、感染防止対策に全力を尽くしてまいります。

同時に、基礎疾患及び既往症など重篤化リスクを有する学生とご家族、経済的に困難な状況にある学生、日本への入国が困難な留学生など、今般のコロナ禍で大きな不安を抱える皆さんに対する配慮や対策に引き続き力を入れると共に、メンタルヘルスケアの強化にも努めてまいります。

今後ともご理解、ご協力下さいますよう、宜しく願い申し上げます。

緊急事態宣言発出下は勿論のこと、宣言解除後も日々の感染防止に努められ、4 月に元気な皆さんと緑濃いキャンパスでお目に掛かれることを楽しみにしております。

横浜美術大学
学長 宮津 大輔